

○現行計画（第4期）と第4期計画（案）の基本構想編部分比較

| (現行) 第3期千葉県教育振興基本計画   | 第4期千葉県教育振興基本計画(案)  |
|---|--|
| 第1章 計画策定の基本的な考え方  | 第1章 計画策定の基本的な考え方   |
| 1 計画策定の趣旨   | 1 計画策定の趣旨  |
| 2 計画の性格   | 2 計画の性格  |
| 3 計画の期間<br>この計画の期間は、令和2年度(2020年度)から令和6年度(2024年度)までの5年間  | 3 計画の構成と期間<br>「基本構想」と「実施計画」の2編構成<br>(1) 基本構想：10年後<br>・10年後の「千葉県教育の目指す姿」とこれを実現するための基本理念と基本目標<br>(2) 実施計画：令和7年度から11年度までの5か年<br>・目標を達成するために、令和7年度から11年度までに実施する施策と主な取組 |
| 4 策定のプロセス   | 4 策定のプロセス  |
| 第2章 千葉県教育の目指す姿  | 第2章 千葉県教育をめぐる現状と課題   |
| 1 千葉県教育をめぐる現状と課題  | 1 第3期計画の検証   |
| (1) AIなど技術革新の進展やSociety5.0への対応<br>(2) 自己肯定感、自尊感情の向上<br>(3) 誰一人取り残さない教育の実現<br>(4) 人口減少・少子高齢化の進行や地域間格差への対応<br>(5) コミュニティ・スクール導入など地域コミュニティの充実<br>(6) 教員の多忙化と働き方改革<br>(7) 子供をめぐる重大事案の発生 | 2 千葉県教育をめぐる現状と課題<br>(1) 人口減少と少子高齢化<br>(2) 急速な社会変化への対応<br>(3) 経済・雇用情勢への対応<br>(4) 多様なニーズに対応した教育<br>(5) 質の高い教育を行う学校体制の充実<br>(6) 学校・家庭・地域の連携・協働                        |
| 2 第2期計画の検証  |  |
| 3 第3期計画の「基本理念」  | 第3章 千葉県教育の目指す姿   |
| ちばの教育の力で「県民としての誇り」を高める！<br>「人間の強み」を伸ばす！<br>「世界とつながる人材」を育てる！   | 1 基本理念<br>『『生きる力』を備え、千葉の未来をしなやかに切り拓く『人』を育てる、ちばの教育』   |

#### 4 第3期の「基本目標」

##### ○基本目標1：ちばの教育の力で、志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる

- ・家族への愛情と感謝の心、他人を思いやる心、全てのいのちを尊重する心など、豊かな人間性と道徳性が育まれている。
- ・社会の変化に対応できる確かな学力と、将来への夢や希望を持って歩んでいく姿勢が育まれている。
- ・たくましく生きるための健康・体力と、困難や逆境を乗り越えて生きていくための力が養われている。
- ・子供たちがいじめや暴力などに悩むことなく学校に楽しく通い、子供や保護者などからの学校への信頼が高まっている。
- ・障害のある子供たちへの理解や支援が広がり、障害のある子供たちと障害のない子供たちとが、地域で共に学び、子供たちの笑顔があふれている。

##### ○基本目標2：ちばの教育の力で、「自信」と「安心」を育む学校をつくる

- ・子供たちが生まれてきてよかったと思える自己肯定感にあふれている。
- ・子供たちへの愛情と熱意にあふれた質の高い教員の育成が進められている。
- ・教員が心身ともに健康を保つことができる環境が整い、子供たちの成長に真に必要な、効果的な教育活動を持続的にしている。
- ・ニートやひきこもり、不登校だった子供や若者たちが、生き生きと勉強や仕事に取り組んでいる。
- ・子供たちの安全が守られ、安心して学校に通うことができる環境が整っている。

##### ○基本目標3：ちばの教育の力で、家庭と地域の絆を深め、全ての人が活躍できる環境を整える

- ・子育てや家庭教育に悩んでいる保護者が気軽に相談できる環境が整い、家庭の教育力が高まっている。
- ・学校、家庭、地域の連携を深め、地域社会全体で子供たちを育成する体制が整っている。
- ・子供や若者を取り巻く有害な環境をなくすための取組が、地域全体で進められている。
- ・生涯にわたり必要な知識や技能、技術を学び、活用し、知的・人的ネットワークを構築し、人生の可能性を広げて新たなステージで活躍するというサイクルを実現し、人生を豊かに生きられる環境を整備する。

##### ○基本目標4：ちばの教育の力で、世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る

- ・多くの県民が日常生活の一部として運動に親しみ、体力の向上が図られており、また、文化にふれ、心豊かに暮らす人が増えている。地域には活気があふれ、「元気な千葉県」として知られている。
- ・高い目標を持ってスポーツや文化・芸術活動に取り組み、全国的に活躍している人が増えている。
- ・県内各地に伝えられてきた伝統文化が継承され、その文化が多くの人との交流を生み、更に新しい現代的な要素が取り入れられるなど、ちば文化の魅力が増している。
- ・県民の県内交流が積極的に行われ、県民一人一人が、様々な千葉の魅力を再発見することにより、千葉県に愛着や誇りを感じられるようになっている。
- ・郷土と国を愛し、日本人としての誇りを持つとともに、広く世界に目を向け、グローバル化に対応できる力を身に付けている。
- ・多くの県民が、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、「世界」とつながっている。

#### 2 基本目標・目指す姿

##### ○基本目標1：未来を切り拓く人づくり

###### (1) 確かな学力の育成

- ・社会的変化を前向きに受け止め、「生きる力」やコミュニケーション能力、創造性など人間本来の普遍的な力を備えるとともに、主体的に解決策を考え、提案するなど、積極的に行動する姿勢が育まれている。
- ・郷土や国を愛する心と誇りを持ち、自信を持って発信することができる力が育まれているとともに、グローバル化に対応し、国際社会における日本人の役割を意識しながら世界で活躍している。

###### (2) 豊かな心、健やかな体の育成

- ・全ての子どもたちが自他の命と尊厳を大切にす豊かな人間性と道徳性が育まれているとともに、たくましく生きる力が養われている。

###### (3) 社会で求められる人材の育成

- ・学校と地域・社会、産業界等が連携・協働したキャリア教育支援体制が構築され、社会で求められ活躍できる人材が育成されている。

##### ○基本目標2：子どもたちの自信を育む教育の土台づくり

###### (1) 質の高い学校教育の推進

- ・教職員が心身ともに健康で、やりがいを持ち、子どもが意欲を高める魅力的な教育環境が整っている。
- ・優れた資質を有する教員の採用が進み、教員自らが使命感や責任感を持ち、指導力の向上に取り組んでいる。
- ・どの地域でも質の高い教育が受けられる学校の指導体制が整っている。
- ・子どもたちが、安心・安全に学び、学校生活を送ることができる環境が整っている。

###### (2) 多様な教育ニーズへの対応

- ・様々な困難を有する子どもたちが健やかに成長し、誰一人取り残されることのない教育環境が整っている。
- ・全ての子どもたちがそれぞれの多様性を認め合うとともに、一人一人の能力・可能性を最大限に伸ばす教育が実現している。

##### ○基本目標3：地域全体で子どもを育てる体制と全ての人が活躍できる環境づくり

###### (1) 学校・家庭・地域の連携・協働

- ・学校、家庭、地域、企業、高等教育機関などが連携・協働し、社会全体で子どもの育成に関わる体制が整っている。
- ・家庭や地域社会における教育力が高まっている。

###### (2) 生涯学び、活躍できる環境

- ・必要な知識・技能をいつでも、どこでも、誰でも学べ、個人や社会の課題解決など、生涯にわたり活躍できる環境が整っている。

###### (3) 文化・スポーツの推進

- ・あらゆる人々が文化・スポーツの価値を見出し、生涯にわたって親しんでいる。
- ・高い目標をもってスポーツや文化・芸術活動に取り組み、全国的に活躍している人が増えている。